





現在の暮らしが苦しい高齢者の割合	E21	%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	-	26.6	-	-	28.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.3	-	-	-	29.4	-	-	-
認知症リスク高齢者の割合	E5	%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	-	50.3	-	-	46.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51.5	-	-	-	50.4	-	-	-
IADLが低い高齢者の割合	E7	%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	-	6.5	-	-	6.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.1	-	-	-	10.6	-	-	-

<p>全国平均等との比較</p> <p>全国平均を大きく上回っている指標: D31-j-受給者1人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)(回)</p> <p>上回っている指標: D31-a-受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)(回) D31-e-受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)(日) D31-g-受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)(日)</p> <p>下回っている指標: D17-e-受給者1人あたり給付月額(居宅療養管理指導)(円) D17-l-受給者1人あたり給付月額(介護予防支援・居宅介護支援)(円) D17-o-受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)(円) D31-d-受給者1人あたり利用日数・回数(訪問リハビリテーション)(回) D31-f-受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハビリテーション)(日)</p> <p>大きく下回っている指標: D17-m-受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)(円) D17-r-受給者1人あたり給付月額(看護小規模多機能型居宅介護)(円)</p> <p>自由記述</p>	<p>全国平均等との乖離について埋田・問題点等の考察 (数値の設定)</p> <p>地域密着型通所介護、訪問介護、通所介護、短期入所生活介護の受給者1人あたり利用日数・回数が全国平均と比べて高くなっている。</p> <p>課題点(仮説):過剰に頻回なサービス利用となっている可能性</p>	<p>設定した仮説の確認・検証方法</p> <p>ケアプラン点検を通じて、過剰に頻回な利用となっていないか点検を行う。</p>	<p>問題を解決するための対応策 (理想像でも可)</p> <p>訪問介護については、サービスを利用することで要介護者が自宅で日中1人となる時間を減らすことが出来る(≒見守りの側面)ことや、通所介護については、家族介護者の支援(レスパイトケア)の機能を持っている側面もあるため、利用者や家族介護者にとって必要なだけの提供となっているか確認を行う。また、個別機能訓練加算等を算定している場合に、重度化防止につなげられるよう、ケアマネジャーに向けた研修内容としてサービス提供責任者等との連携を円滑に行えるようなテーマを検討する。</p>
自由記述			